



2016年10月11日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120-598106
アウディコミュニケーション センター

Audi、WEC 富士戦での躍進に大きな期待を寄せる

- Audi R18 が7月以降のレースでライバルをリードして走行した合計距離は1,000km以上
- 富士戦は2016年シーズンのタイトル争いにおいて非常に重要なレース

10月7日 インゴルシュタット: 今シーズンのFIA世界耐久選手権(WEC)が、大詰めを迎えています。アジア圏での3大会がわずか5週間の間に開催されるシーズン終盤は、タイトル争いを決着する重要な要素となります。アウディは、マニファクチャラーズ、ドライバーズともランキング2位を維持した状態で日本でのレースに臨みます。非常に重要な第7戦は、10月16日曜日、東京から南西およそ100kmに位置する、チャレンジングなレイアウトで知られる富士スピードウェイで開催されます。

今シーズンのFIA世界耐久選手権は、6時間耐久でありながらスプリントさながらの展開となったレースが数多くありました。ニュルブルクリンク、メキシコ、テキサスでの大会では、最後の1周までスリリングな展開が続きました。アウディのチームとドライバーは、富士戦を特に心待ちにしています。日本のレースファンは耐久レース観戦が好きで、ドライバーへの敬意の念すら感じられます。また多くのメディアもモータースポーツを好意的に取り上げてくれます。その理由のひとつに、多くのアウディドライバーが日本と深い関係を持っていることが挙げられます。ロイック デュバルとブノワ トレルイエのフランス人ドライバー2名は、日本で幾年にもわたりレースに出場、多くの好成績を残しています。さらにドイツ人ドライバー・アンドレ ロッターは2003年から東京に拠点をもち、日本を第二の故郷として数多くのレースに出場しています。

アウディモータースポーツ代表のDr. ウォルフガング ウルリッヒは「富士戦は、いつも大きなチャレンジを伴う大会だと思っています。非常に長い直線と複雑なコーナーが組み合わされたコースレイアウトがチャレンジングであることに加え、特殊な天候が大きな要素だと考えています」とコメントしています。アウディスポーツのエンジニアは、2台のAudi R18を富士スピードウェイに合わせ、入念にセットアップしました。1.4kmにもおよぶホームストレートでトップスピードが300km/h以上に達したあと、ミドルセクターでは弧の大きな高速コーナーが連続し、最終コーナーに向けては低速コーナーとシケインが表れます。

富士山周辺の天候は、非常に変わりやすいことで有名です。2013年には豪雨のためにレースが中止。昨年2015年はマルセルファスラー(スイス)がトップを快走し、ロイック デュバルがファステストラップを記録したにも関わらず、悪天候に阻まれ優勝獲得はなりません。富士戦は、2012年にWECが開幕して以来、アウディが一度も優勝を獲得していない唯一の大会です。Dr. ウォルフガング ウルリッヒは「富士戦がいかに難しいか、十分に理解しているので、今大会は優勝を獲得したい」とコメントしています。Audi R18のパフォーマンスの高さは、2016年シーズン後半で、大いに証明されています。ニュルブルクリンク、メキシコ、オースティンの過去3レースだけで、Audi R18がライバルをリードして走行した距離の総合計は1,136kmにも達します。

年間タイトルの行方は、現時点でも確定出来ません。メキシコとテキサスの大会では、ハイブリッドモデルで参加するマニファクチャラー3社ともに、表彰台獲得という混戦を繰り広げました。

ルーカス ディ グラッシ / ロイック デュバル / オリバー ジャービスは、依然としてアウディ勢で最多ポイント獲得のトリオとして、ランキング2位を維持しています。彼らとランキングトップとのポイント差は37.5ポイントありますが、最終戦までの間に獲得可能なポイントは78ポイントも残されています。マニファクチャラーズ タイトルでは、トップのポルシェを53ポイント差

で追う 2 番手ですが、こちらも残り 132 ポイントもの獲得可能性が残されています。

富士 6 時間レースは 10 月 16 日(日曜日)午前 11 時スタート。アウディが提供する Facebook (AudiSport)ならびに Twitter (@audisport)においてさまざまな情報が提供されます。

FIA 世界耐久選手権(WEC) 全 9 大会中 6 大会終了時点でのランキング

ドライバーズ ランキング

1: ジャニ / リーブ / デュマ	(ポルシェ)	130 ポイント
2: ディ グラッシ / デュバル / ジャービス	(アウディ)	92.5 ポイント
3: コンウェイ / 小林 / サラザン	(トヨタ)	92 ポイント
4: ベルンハルト / ハートレー / ウェバー	(ポルシェ)	78.5 ポイント
5: ファスラー / ロッテラー	(アウディ)	78 ポイント
6: インペラトリー / クライハマー / テュシャー	(レベリオン)	52 ポイント
7: トレルイエ	(アウディ)	44 ポイント

マニュファクチャラーズ ランキング

1: ポルシェ	238 ポイント
2: アウディ	185 ポイント
3: トヨタ	137 ポイント

*本リリースは、アウディモータースポーツ配信リリースの翻訳版です。